

平成23年度t-PA治療実績 (平成23年4月～平成24年3月)

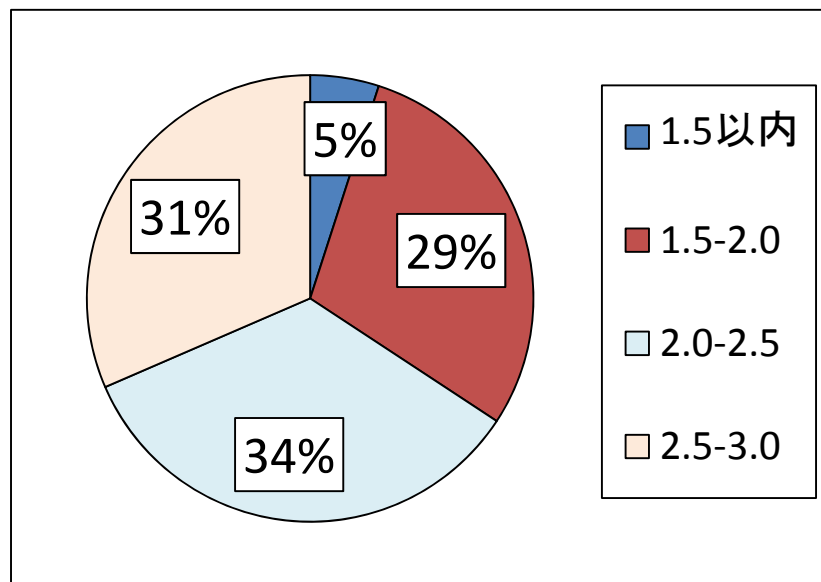
1 報告件数

性別	人数(割合)
男性	117 (64%)
女性	67 (36%)
報告数	184

2 年齢分布

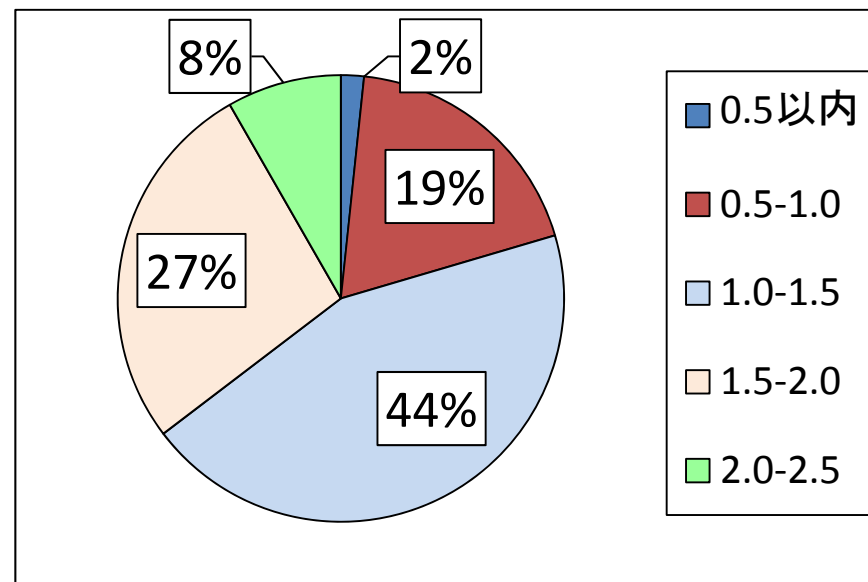
年齢	人数(割合)
～19	0 (0%)
20～64	38 (21%)
65～74	46 (25%)
75～	100 (54%)

3 発症時刻からt-PA療法開始までの時間(hr)



平均時間133分

4 病院到着からt-PA療法開始までの時間(hr)



平均時間82分

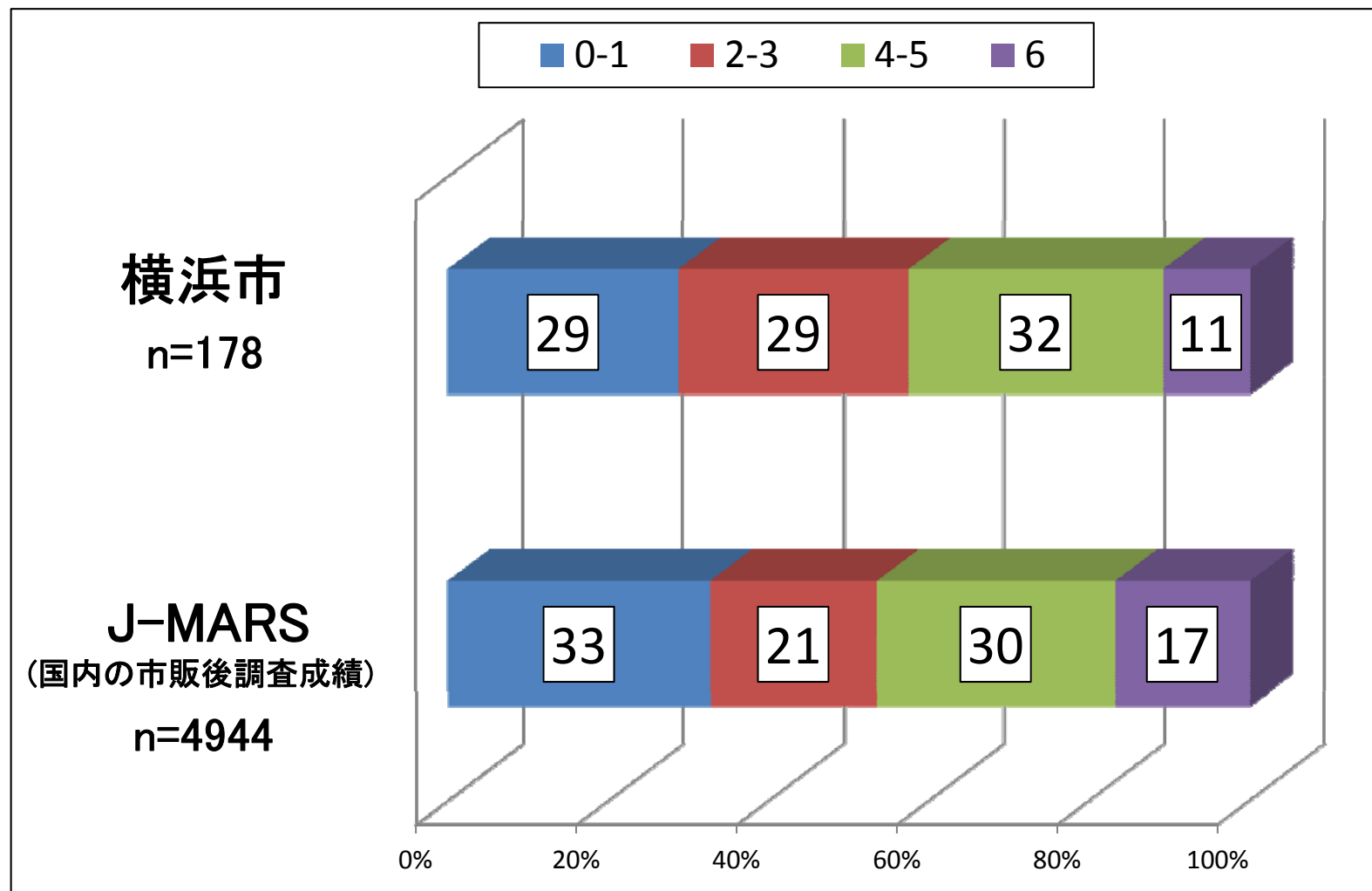
5-1 平成23年度横浜市のt-PA治療実績と市販後調査成績との比較

mRS 【3か月後】	0-1	2-3	4-5	6
横浜市 【n=178】	29%	29%	32%	11%
J-MARS(国内の市販後調査成績) 【n=4944】	33%	21%	30%	17%

※mRS・・・障害の程度を表す基準のこと(下表は日本脳卒中学会の資料を引用)

0	まったく症状なし
1	日常の勤めや活動は行える
2	身の回りのことは介助なしに行える
3	何らかの介助は必要とするが、歩行は介助なしに行える
4	歩行や身体的要求には介助が必要である
5	寝たきり等常に介護と見守りを必要とする
6	死亡

5-2 平成23年度横浜市のt-PA治療実績と 市販後調査成績との比較



6-1 平成23年度横浜市のt-PA治療実績と 国内外の市販後調査成績との比較

下記の表は、EUの市販後調査成績(SITS-MOST)と比較するために、横浜市の治療実績を再集計したもの(J-MARSの結果も再集計したものを引用)。

再集計の対象患者は、「18歳から80歳まで」及び「搬送時のNIHSS(※)スコアが25未満」の2つの条件を満たす者。

mRS 【3か月後】	0-1	2-3	4-5	6
横浜市 【n=105(全症例数の約59%)】	42%	32%	20%	6%
J-MARS(国内の市販後調査成績) 【n=3576(全症例数の約72%)】	39%	23%	27%	12%
SITS-MOST(EUの市販後調査成績) 【n=6136】	39%	31%	19%	11%

※ NIHSS

世界共通で使われている神経症状の評価尺度の数値で、t-PA治療前に意識水準や麻痺の程度などの15の項目についてチェックをして点数化したもの。症状がなければ0点、一番重症度が高いものは40点となる。

6-2 平成23年度横浜市のt-PA治療実績と 国内外の市販後調査成績との比較

